

平成19年3月30日

会社名 株式会社 広島銀行
代表者名 取締役頭取 角廣 勲
(コード番号 8379 東証第1部)
問合せ先 総合企画部長 吉野勇治
(TEL 082-247-5151)

中期計画<SPIRITS (スピリッツ)>の策定について

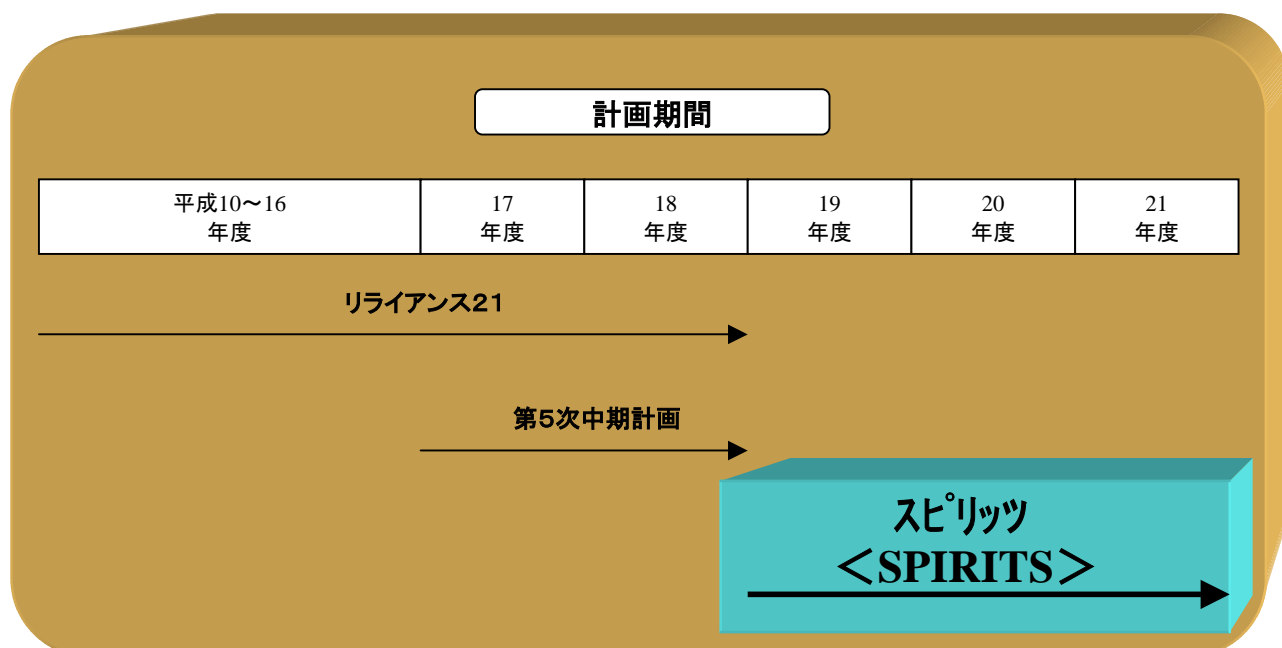
広島銀行(頭取 角廣 勲)では、平成19年度から平成21年度までを計画期間とする中期計画を策定しましたので、その概要をご案内いたします。

1. 策定の経緯

当行では、平成10年8月に策定した長期経営計画「リライアンス21」のもと、5次にわたる中期計画を推進してまいりました。第5次中期計画(計画期間:平成17年度~19年度)の2年目にあたる平成18年度には、平成19年度の利益目標を一年前倒して達成する見込みです。

一方、外部環境は、少子高齢化の進行や団塊世代の大量退職等「社会構造」の変化、「貯蓄から投資へ」に象徴される「顧客行動」の変化、県境を越えた地域金融機関の統合や政府系金融機関・日本郵政公社民営化の進展等「競争環境」の変化等、歴史的な転換点を迎えております。

こうした外部環境の変化に的確に対応し、更なる成長と進化を遂げるために、中期計画<SPIRITS (スピリッツ)>を策定いたしました。



2. 呼称とスローガン

①高い志と競争に打ち勝つ気力、②お客さまを大切にする心を常に持ち、③公明正大・誠実に業務に取り組むという3つの精神を表す意味で、呼称を<SPIRITS(スピリッツ)>といたしました。

また、広島県に本店を置く唯一の地方銀行として、地域の金融システムをより安定化・高度化する役割と責任を全うするためのスローガンとして、「日本一お客さまを大切にする、中四国No.1のハイクオリティバンクを目指そう」を定めました。

<SPIRITS (スピリッツ) >

ファイティング・スピリット
Fighting Spirit
(高い志と競争に打ち勝つ気力)

ハーター・スピリット
Hearty Spirit
(お客さまを大切にする心)

フェイスフル・スピリット
Faithful Spirit
(公明正大・誠実さ)

スローガン

「日本一お客さまを大切にする、中四国
No.1のハイクオリティバンクを目指そう」

<ハイクオリティバンクのイメージ>

1. 地元シェアが高く、高い成長性と収益力を有し、圧倒的な存在感のある銀行
2. 高い信用力を有し、格付け、PBR（株価純資産倍率）の高い銀行
3. 充実したネットワークを有し、最高品質の価値ある金融サービスを提供する銀行
4. 従事者が高度な金融知識・業務知識を有し高い倫理観を備えている銀行

3. 重点施策

組織・人材 戦略

- ▶営業推進部門を中心に戦力を約360名増強し、「攻めの経営」の体制を整える。
- ▶法令遵守や高い倫理観に基づく行動を徹底する。

営業戦略

- ▶お客さま満足度の向上とファースト・コール・バンクの実現を目指し、「Face to Face」の営業強化により顧客基盤の拡大・深化を図る。
- ▶地域別・顧客セグメント別営業推進の強化と営業推進体制再構築により、磐石な顧客基盤をベースとした安定的「拡大均衡」を実現する。
- ▶新設を含め、建て替え、移転、リニューアルを中心に、全体の約3割にあたる50店舗程度について投資を行う。

事務・IT戦略

- ▶「日本一お客さまを大切にする銀行」の実現に向けて、お客さまの「ご満足」・「ご安心」の向上と窓口体制の強化を図る。
- ▶システム共同化の維持・発展により、“より良いシステムを早く安く”構築し、ITの戦略的活用を図る。

リスク管理

- ▶統合的なリスク管理体制のもとで、各種リスク（信用リスク・市場リスク・流動性リスク・オペレーショナルリスク）を統合的に把握・管理するとともに、リスク・収益・自己資本のバランスのとれた経営管理を実施する。
- ▶リスク管理態勢の更なる強化・高度化を図る。
- ▶内部管理態勢の適切性の検証及び各リスクに応じた実効性ある内部監査態勢を構築する。

アライアンス (提携) 戦略

- ▶お客さま、当行グループ、提携先の三者にとってメリットの大きいアライアンスを積極的に展開する。

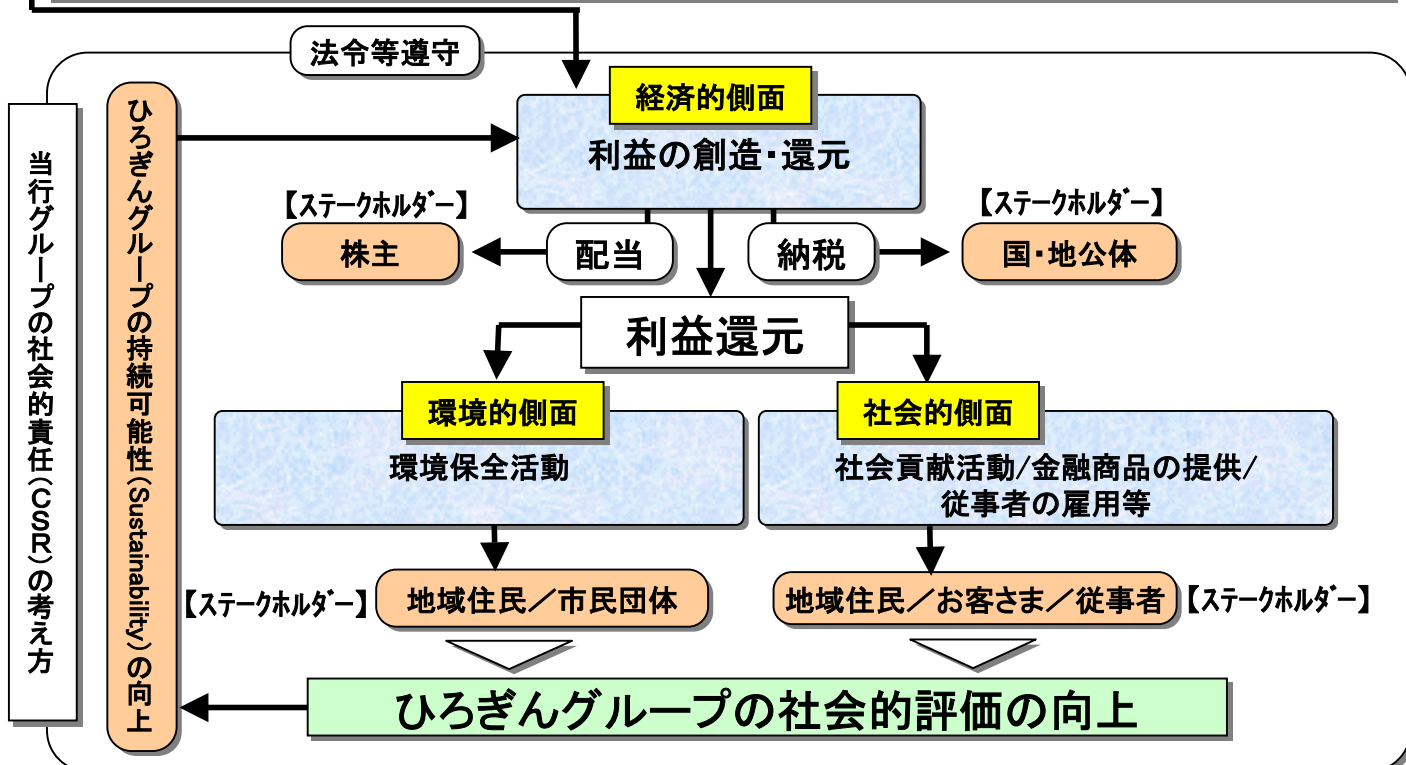
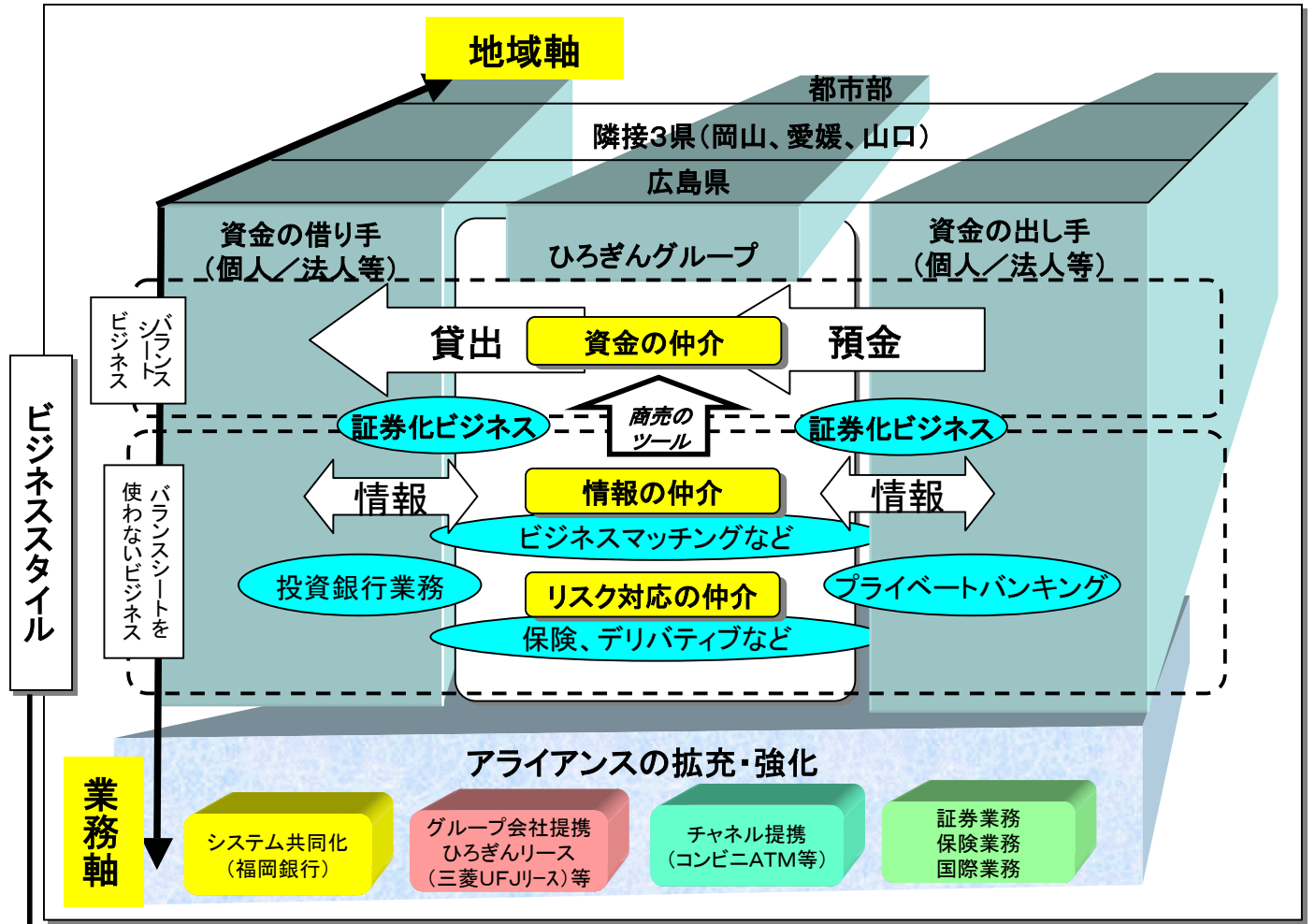
4. ビジネスの考え方

従来のビジネススタイルを、業務軸と地域軸に拡大させました。

業務軸では、企業活動の国際化や「貯蓄から投資へ」に象徴されるお客さまニーズの多様化・高度化に的確に対応し、「アライアンスの拡充・強化」を積極的に押し進めます。

地域軸では広島県および隣接3県のみならず、都市部でも当行のビジネススタイルを展開してまいります。

社会的責任（CSR）についても当行グループ全体で取り組み、「地域社会との強い信頼関係で結ばれた、頼りがいのある<ひろぎんグループ>」の実現を図ります。



5. 経営目標

「中期計画＜SPIRITS（スピリッツ）＞」最終年度（平成21年度）における経営目標は、「連結当期純利益」、「コア業務純益」、「コアOHR」、「連結ROE」、「連結自己資本比率」、「連結Tier1比率」の6指標とし、自己資本（Tier1）に直結する「連結当期純利益」の増加を柱とする中で、格付けの向上を目指します。

	平成18年度 見込み	平成21年度 計画	
経営目標	コア業務純益	522 億円	645 億円
	コアOHR	53.6 %	50% 未満
	連結当期純利益	208 億円	335 億円
	連結ROE	7.2 %	9% 以上
	連結自己資本比率 (連結Tier1比率)	10.3 %台 (6.5%)	10% 以上 (7% 台)
	格付の向上 Baa1 → Aa3 以上		
参考	【貸出金シェア】 広島県 隣接3県	35 % 各5～6%	37% 各7%

6. 配当政策

平成18年3月期より、安定配当に加え、業績連動型配当金を支払うこととしておりますが、「中期計画＜SPIRITS（スピリッツ）＞」期間中も、同方針に基づき、連結当期純利益の水準に応じて配当水準を決定してまいります。

但し、事業展開やリスク環境により変更することがあります。

《目安テーブル》

連結当期純利益	一株当たり配当金額			連結配当性向
	①安定配当	②業績連動配当	①+②	
～180億円以下	5円	0円	5円	～17.4%以上
180億円超～210億円以下	5円	1円	6円	20.8%未満～17.9%以上
210億円超～240億円以下	5円	2円	7円	20.8%未満～18.2%以上
240億円超～270億円以下	5円	3円	8円	20.8%未満～18.5%以上
270億円超～300億円以下	5円	4円	9円	20.8%未満～18.7%以上
300億円超～330億円以下	5円	5円	10円	20.8%未満～18.9%以上
330億円超～360億円以下	5円	6円	11円	20.8%未満～19.1%以上